

吉岡修一郎 よしおか しゅういちろう 科學史家。明治二十五年一月十八日石川縣生れ
 (一九〇二—)。大正十四年東北帝國大學理學部卒、昭和九年九州帝大法
 文學部卒。金澤工業高等學校教授、高岡工業專門學校教授歴任。のち
 評論、著述に専心。

- 著書 『數學文化史』 (昭和十二年十一月十日河出書房)、『隨筆數學の
 エーヒヤ』 (昭和十四年六月—二十七日誠文堂新光社)、『科學逸話史』
 (昭和十七年三月十日山雅房『科學史叢書』)、『學徒宣言』 (八月著
 ・白井善之介編、昭和十八年一月—二十日京都・白井書房)、『數學千
 一夜』 (昭和二十一年九月十日石川・東邦物産株式會社文化部)、『現
 代ナランズ哲學』 (昭和二十一年二月—二十日全國書房)、『日本科學
 史夜話—科學史思想の場から』 (井上恵共著、昭和二十二年十一月
 —二十日京都・大八洲出版株式會社)、『日本人の科學思想の發展』 (昭
 和二十四年二月十日彰考書院『民主主義科學教程』)、『日本科學思
 想史概説』 (昭和二十七年五月—二十五日彰考書院)、『新編數のエーヒ
 ヲ』 (昭和三十年七月—二十五日學生社)等。

